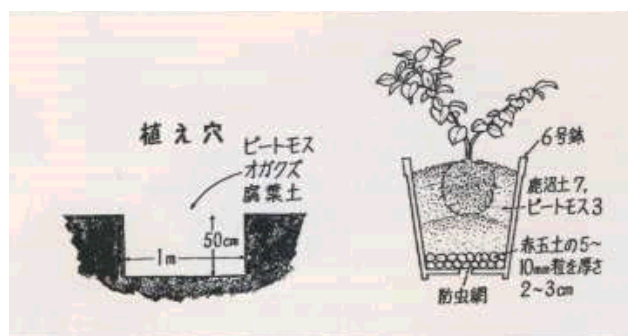


# シャクナゲ



## シャクナゲの植付け

シャクナゲを枯らしてしまう原因は、水不足によるものです。水はけのよい土にすることが重要です。

**庭**への植え付けは、水はけがよく腐植質に富んだ場所を選びます。また、西日があまり当たらない場所の方が良いです。シャクナゲの根は極めて酸素を好むので、深植は避けましょう。

**鉢植え**の場合は、赤玉土小粒、鹿沼土、ピートモス、パーミキュライトを4:2:3:1の割合で植え付ける事が望ましいのですが、市販されている培養土で水はけがよつぽど悪くなければ、培養土で構いません。市販されている培養土も種類がいくつかあるので、いろいろな土の成分が入っている物を選ぶことをオススメします。

### 水やり

**庭植え**は、夏以外は基本的に水やりの必要はありませんが、夏の高温期に土壌が乾燥しすぎないように、朝か夕方に葉水も兼ねて十分に水やりを行います。冬は日中に行うようにします。

**鉢植え**は、土の表面は乾いたらたっぷり葉水も兼ねて行います。庭植えと同じように、夏は朝か夕方に冬は日中におこなうことが望ましいです。

シャクナゲは夏の水やりが栽培のポイントです。

### 置き場所

西日の強くない野外で栽培します。夏は乾燥を防ぐため、直射日光の当たらない半日陰の場所に置いたり、土の表面にマルチング材や腐葉土などで覆ったり、寒冷紗をかけたりしても良いかと思えます。冬が逆に暖かい場所に置いてあげると良いと思えます。

### 肥料

化成肥料や液肥を与えます。

### 花がら摘み

シャクナゲの花が終わったら、花がら摘みを行います。

作業が遅れると来年の花芽がつきにくくなりますので、ご注意ください。

### 芽かき

シャクナゲは枝数が少なく、古い枝からは芽が出にくい為、剪定は不要です。

たくさん枝を出させてこんもりとした樹形にさせたいならば、芽かきを行います。

花が咲かず、春になっても枝から新しい芽が1本しか出ていない場合は、なるべく早く芽がまだ柔らかいうちに、付け根から芽を手でかき取ります。こうすることで複数の芽が出てきます。

花が咲いた枝からは複数の芽が出るので、芽かきの必要はありません。